

科目名称	医療安全Ⅱ（演習）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	15
担当教員	栗林のり子 森山昭子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

安全な看護実践を提供するために、対象の日常生活におけるリスクを回避する方法を理解できる。

【2】学習目標

1. 対象者側と医療者側に潜む、看護・医療事故の危険因子を判断できる。
2. 医療チームの一員として対策とルールを遵守する必要性を説明できる。
3. 安全を守るための倫理的判断・行動について説明できる。
4. 看護学生として事故予防、事故発生時の対応について説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態	教員
1	ヒヤリハットに学ぶ看護技術	演習	栗林のり子
2	医療安全トレーニング	演習	
3	看護・医療事故の分析(1)	演習	
4	看護・医療事故の分析(2)	演習	
5	看護・医療事故の分析(2)	演習	
6	看護・医療事故の分析(3)	演習	
7	医療機関における医療安全の実際	講義	森山昭子
8	筆記試験		

【5】評価方法

演習課題の実施

筆記試験

【6】教科書

川村治子:看護の統合と実践[2] 医療安全, 医学書院.

【7】参考書

川島みどり監:ヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術, 医学書院.

石川雅彦, 斎藤奈緒美:書いた考えて気づける 医療安全トレーニング ベーシック編, Gakken.

【8】受講生へのメッセージ

医療安全トレーニングや事故分析法を学び、安全な看護実践を行いましょう。